

1

2025▶2026  
令和8年  
1月21日発行

## 寺領小学校 だより

Jiryo Elementary school  
文責 校長

教室は、ふだんと変わらない子どもたちの笑い声でいっぱいです

自分でもたもちも多かったようです。幸い、身の回りで大きな被害はなかったようですが、地震発生時は一人だったという子どももいました。自分の身は自分で守られるよう、日頃からの備えや避難訓練をすることの大切さを改めて実感したところです。

この一年、予期せぬこともあるかもしれませんが、寺領小学校の子どもたちがますます元気で楽しく過ごせるよう、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしく願っています。

一月六日に島根県東部を中心に大きな地震がありました。一昨年、この学校だよりで能登半島地震のことに触れたのですが、島根に住む子どもたちにとってはこれまで経験したことがないほどの地震で、不安や恐怖を感じた子どもたちも多かったようです。幸い、身の回りで大きな被害はなかったようですが、地震発生時は一人だったという子どももいました。自分の身は自分で守られるよう、日頃からの備えや避難訓練をすることの大切さを改めて実感したところです。



始業式のと、地震が起こったときの対応を改めて確認しました

お正月早々から雪が積もるという二〇二六年の幕開けとなりましたが、今回も学校周辺の歩道や学校の駐車場をすぐに除雪していただき、地域の皆様の温かさを感じながら、うれしいスタートを切ることができました。

本年もどうぞよろしく  
お願いいたします

## 気持ちのよいあいさつや返事をしよう

各学年で今月の生活目標について話し合いました。「気持ちのよいあいさつや返事をしよう」を学校全体の目標とし、学年段階に応じて具体的なめあてを考えます。各学年が取り組むこととして、

- ・顔を見て、心をこめて（1年）
- ・自分から相手の顔を見て笑顔で（2年）
- ・先に、自分から、みんなに（3年）
- ・地域の人に喜んでもらえるように（4年）
- ・笑顔で相手がうれしくなるように（5年）
- ・どこでも誰にでも元気よく（6年）

などの言葉が、あがっていました。

寺領小学校の子どもたちは、よくあいさつをします。学校に来たとき、帰るとき、職員室でとても大きな声であいさつをします。

ただ、気になっていることもあります。「登下校時は職員室であいさつをする」など、約束事として決められたことはきちんと守っていても、自分から進んで、自分で判断するという部分はまだまだなのかなと感じています。

「挨拶」という漢字には、諸説あるようですが、相手に近づいて心を通わせるという意味があるそうです。自分から、心をこめて、相手がうれしくなるようなあいさつとなるよう、生活目標を心にとめ、子どもたちの自主性が発揮されることを期待したいと思います。



雲南市立寺領小学校

〒699-1322 島根県雲南市木次町寺領 612  
TEL0854-42-0529 FAX0854-42-0572HP <https://shimane-school.net/unnan/jiryo-sho/>E-mail [jiryo-sho@unnan.ed.jp](mailto:jiryo-sho@unnan.ed.jp)



## そば打ち・配食

2学期終業式の終了後、4年生以上の子どもたちが、そば打ちと配食・見守りの活動に参加させていただきました。一昨年度までは地域の活動に希望者が参加するという形でしたが、昨年度より、そば打ちは学校の大切な活動と位置付けて、終業式の日に行っています。



4年生は初めて参加させていただきましたが、そば打ち名人さんのていねいなご指導もあり、どんどん上手になっていきました。ご高齢の方が食べられることを思い浮かべながら、太くなりすぎないように、ていねいに切っている姿が印象的でした。

心をこめてつくったそばと、2年生がポップコーンを販売した収益で用意したお花を地域の皆様にお届けし、そのあと、みんなでおいしくいただきました。



また、先日は、5年生が福祉学習を行いました。これまでは、車椅子の体験などを行っていましたが、今回は、福祉協議会の方に加え、民生児童委員で、そば打ちと配食・見守りの活動のお世話もしておられる為石勝美さんに講師として来ていただき、日登地区の福祉について学びました。自分たちが行ってきたそば打ちと配食・見守りの活動が地域の方のために役立っていることを学び、ご高齢の方に出会ったとき、さらに自分たちができることについて考える時間となりました。



### 令和8年度へ向けて

4月から、3・4年生は複式学級になる見込みです。一つの教室で複数の学年が学習することのマイナス面が指摘されることがありますが、一人一人が主役となって学習を進めることで主体的に学習に向き合えるというプラス面を、しっかり伸ばしていきたいと思えます。3年生算数の研究授業では講師の先生をお招きし、3年生の姿を通して、寺領小がめざしていく授業について研修しました。